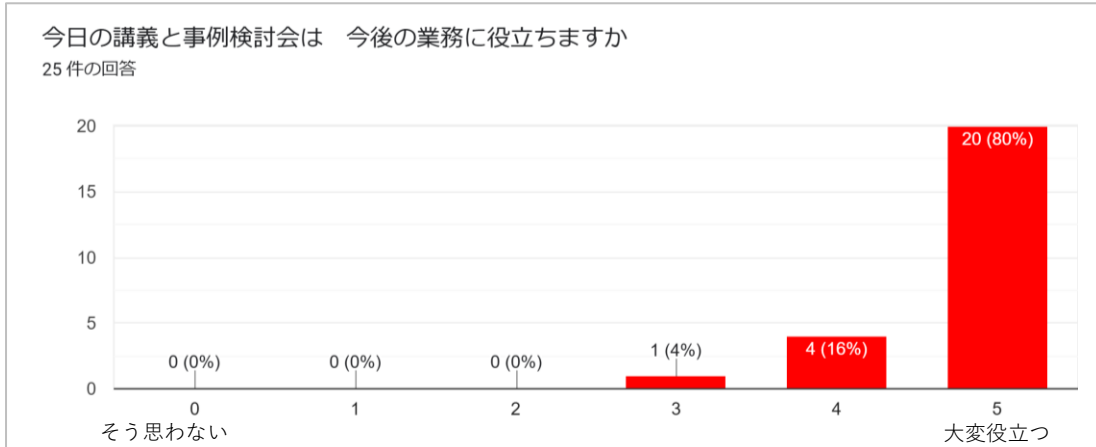
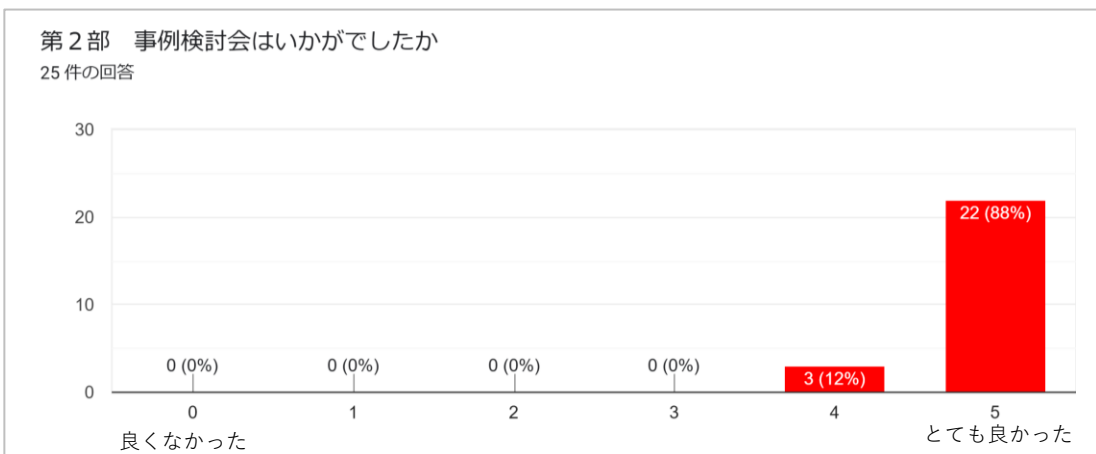
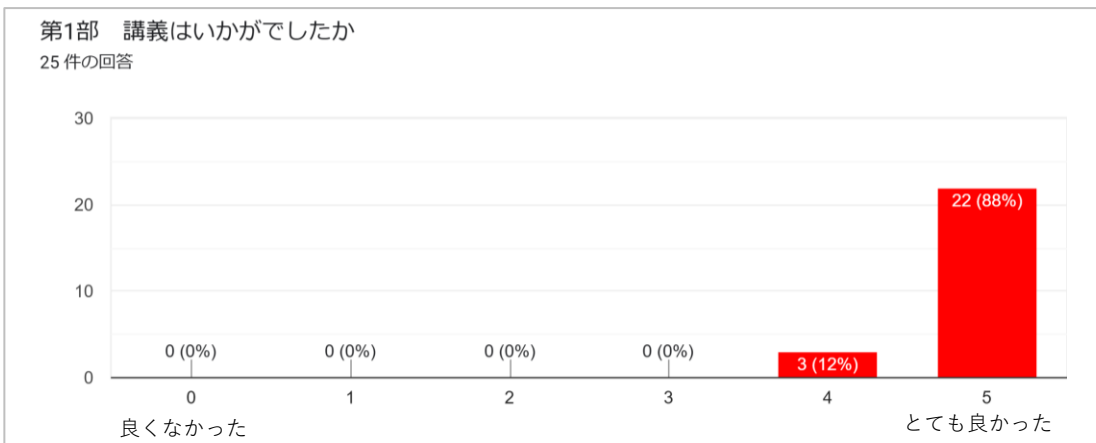


令和7年2月19日(水)

「整形外科の訪問診療医から見た在宅医療」
多職種研修&事例検討会アンケート結果

参加者30名 回答者25名 回答率83%

職種	参加者数
ケアマネジャー	11
看護師	9
理学療法士	5
医師	3
薬剤師	1
介護士/ヘルパー	1
計	30



研修で印象に残ったこと ご意見ご感想
20件の回答

- 在宅での超音波機器の使い方研修をやってほしい。
- 在宅の整形外科についてとても勉強になりました。なかなかこのような勉強会がないので良かったです。
- 活発な意見交換でグループワークは有意義でした。
- 他職種の意見が聞けて良かったです。
- 実際の現場でも1人の利用者に対しチームでミーティングができると良いなと思いました。
- 多職種で話し合うことができ、沢山の意見を伺えたのでとても勉強になりました。
- 講演はわかりやすく、事例検討会は様々な職種の方の視点で意見が聞けて参考になりました。
- 利用者の思いを大切にしたいと思いました。
- 整形外科の勉強会を増やして欲しいです。
- いろいろな職種の意見は参考になります。想像しながら話し合うのはとても楽しいです。
- 多くの利用者がどこかが痛いと言われるため、聞き慣れてしまっていることに反省し、専門的な意識をもってアドバイスしたり、医師や医療職につなげて連携していきたい。
- ご本人の希望を大切に支援すること、情報共有をチームで大切にすることなど、私も大切にしたいと思います。ありがとうございました。
- これまで整形外科医から話を聞く機会が少なかったので大変勉強になりました。今まで勘違いしていたこともあり、今後の仕事に活かせる内容でした。事例検討のグループワークは、多職種の方々と話す機会になり楽しかったです。次回も参加したいと思います。
- 実際に多職種で話し合う場のシミュレーションができ学びになりました。
- とても分かりやすく説明してくださり、今後の整形受診が必要な方に役立てたいと思います。ありがとうございました。
- とてもあるあるケースの事例検討でした。薬のことも骨粗鬆症の治療も、膝のことも全部あるあるで参考になりました。とても良かったです。エコーが診断に使われていることもとても分かりやすかったです。
- レントゲンよりエコーの方が骨折している部位が分かることに驚きました。バストバンドの目的を勘違いしていました。治療目的より疼痛管理であることを店舗スタッフに共有したいと思います。今後もいかに服薬を継続してもらえるか工夫して説明していきます。
- 意見をまとめて発表するのが苦手だが、ファシリテーターの方がうまく進行・発表してくれた。このような勉強会であれば今後も参加しやすいと思った。
- 高齢者は些細なことでも骨折につながりやすいため、迅速に対応するためにも痛みの箇所や動きなどの観察が必要である。レントゲン診断ではなくエコー診断が有効であると感じた。事例を通して対象者の思いに沿いながら多職種で支えていく重要性を感じながら、グループワークで意見交換することで気づかないことにも気づくことができた。多職種連携の重要性を改めて感じた。
- 整形外科の研修は珍しいです。実は在宅では、転倒、打撲などとても多く、判断に困ることがあります。その際の観察・判断方法などとても参考になりました。事例検討では、それぞれが日頃、仕事や経験したことなどから、活発な意見が沢山出ました。資料は格好良さを考えたのでしょうか、バックが黒なのでメモがし辛く残念でした。